

北川かっぱ通信

2019年10月13日

vol. 129

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

秋、台風一過
大変でした号

10/20(日) 北川クリーンアップに協力ください



ザリガニ触れるかな

報告 第24回 北山わんぱく夏まつり

8月4(日)は第24回北山わんぱく夏まつりです。お天気にも恵まれました。が、八月の上旬、お天気に恵まれれば、それは「猛暑日」。そこで、今年から午前中開催にしました。これまでは10時開始16時終了としていたのを、暑さ対策として7時開始12時半終了に変更です。参加者は減りましたが、昨年までは参加者に対してスタッフが不足しているような状態でしたので、まあ、そこは良しでしょうか。ただ、最初のイベント「八国山虫とりハイク」は、56人もの参加(市役所発表)があって、ちょっと驚きでした。生きものの展示コーナーやザリガニ釣り、北川ウォークなど例年通りの人気だったように思います。カヌーは参加者が減りましたが、待ち行列がなくなり、スタッフにも余裕が出てきました。当日も猛暑日でした。軽い熱中症と思われる子どもがひとりいましたが、日陰で横になり、氷でガンガン冷やしてすぐに回復しました。本部近くには冷たい飲み物や氷類、熱中症対策の飲料などが用意されています。とはいえ、今後も熱中症対策は



恒例、紙芝居

油断なくすすめないといけない、と思いました。

午前中開催にしたことで、準備等もだいぶ整理できました。食べ物の露店を取りやめ、保健所への申請がずいぶんと楽になりました。また、朝早いので、チラシ配布を市内全小学校から近隣の 3 校に絞りました。カヌー用の堰の撤去はこれまで翌日にしていましたが、当日中に片づきます。午前中開催とは関係ないのですが、重量級のテントを軽量のタープテントを借りることに。合わせて、机、椅子の数も減らしました。テント類の設営・撤去は大仕事でしたが楽勝になりました。市役所みどり公園課と「八国山虫とりハイク」や機材等の準備等で事前の調整が必要です。これまでメールのやり取り等でひと項目ずつ検討していましたが、「一度、打ち合わせをしましょう」という提案があり一気に解決。昨年までの地道な検討があったからのことですが、それにしてもスムーズになりました。

僕は事務局を 2 年、実行委員長を 2 年やってきましたが、簡単に引き継げるような内容ではありません。改善につぐ改善で積み上げてきたので混んととしてます。でも、今年は光明が差してきた感じです。もう一息で、持続可能な北山わんぱく夏まつりも実現すると思います。で、来年。誰か実行委員長やらない？（はんべえ）

報告 9/15 市主催の外来植物防除イベント



イベントでは北山公園内に生育するセイタカアワダチソウやオオフサモなどの外来植物 7 種、絶滅危惧種キクモの識別ができることを目標に 30 名弱の参加者がありました。NPO birth の解説と園内の観察の後、識別試験を受け（全グループ合格）、その後「外来植物ハンター」の腕章をつけて外来植物 7 種の駆除を行いました。大量の駆除を行うことができました（写真）。終了後、かつばの会で引き上げたカゴアミで捕獲されたアメリカザリガニやウシガエル、キバラガメを参加者に見ていただきました。

今回のイベントは内容が充実しており、また市の意気込みも感じられ、北山公園の環境保全に新たな風を吹き込むことができたのではと感じました。

報告 環境省主催の環境パートナーシップ研修で 北川や北山公園の事例を紹介

10月2日(水)に開催された研修は、地方自治体などの職員向けの研修で、行政と市民団体や企業とが連携して環境施策を推進していくための基礎知識や実践について学ぶもので、全国から50名弱の参加がありました。当日は北川流域のパートナーシップ事例について、NPO birth、市みどり公園課、そして北川かつぱの会のそれぞれが現地で紹介しました。

北川かつぱの会からは、親水護岸や魚道設置の経緯、環境学習や外来種防除活動などについて紹介しました。最後の質疑の時間ではたくさんの質問が寄せられましたが、北川流域での事例を参考に、全国でパートナーシップ事例が拡散していくことを期待します。

2019年10月～12月 活動スケジュール

ホ は **ホランティア募集** の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください



定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/9、12/14(土) **ホ**

集合: 北山小正門前

秋の北川クリーンアップ **ホ**

10/20(日) 10:00-12:00

北山公園管理事務所前、宅部遺跡橋、または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。長靴、手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

外来生物慰霊祭

10/20(日) 12:00前後(北川クリーンアップ終了後) 北山公園しょうちゃん池脇で慰霊を行います。

北山いきものクラブ **ホ**

毎月第2土曜

11/9(土) 13:00～15:00頃

北山公園善行橋付近で開催。北川や北山公園で捕獲した魚類等の展

示と魚とりなど。雨天中止。

東村山市環境フェアに出展

11/12(火)午後～11/17(日) 夕方

(中央公民館 1階で北川かつぱの会の展示)

北川かつぱの会 定例会

11/30(土) 17:00-18:30

サンパルネ3階

来年3月頃までの活動予定を中心に検討します。

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

10/16(第水土曜) 13:30～

10/19(第3土曜) 13:30～

11/3(第1日曜) 9:00～

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

かっぱの楽校 生き物講座 99 ウスバシロチョウ



これまで東村山市内で56種の蝶を撮影し、そろそろ新たな蝶の撮影は頭打ちとなっていました。し

かし、未撮影のある蝶を、数年前にある人から八国山で確認したという話を聞いており、その蝶は狭山丘陵の西部や北部では定着していることから、なんとか八国山あたりで撮影できないかと毎年気にしていました。そして、ようやく今年その願いがかなったのでした。

蝶の名前はウスバシロチョウ(写真)と言います。ややこしいのですがアゲハチョウの仲間です。翅が白く半透明に見えるのが名前の由来です。年に1回、初夏にのみ成虫が現れ、林縁などをふわふわと軽やかに舞ってくれます。変わった生態をしていて、一度交尾したメスは、オスによりもう他のオスと交尾できない体にされてしまいます。そして、卵で越冬して、幼虫は八国山に自生するムラキケマン等を餌にします。

南方系の昆虫は、温暖化の影響で分布をどんどん北に広げている種が多いのですが、ウスバシロチョウは珍しく北方系の昆虫(因みに体がちょっと毛深い)なのに、分布を広げているようだとされています。(ビー永島)

北山いきものクラブに参加して 中谷 壮吾



9月14日、私は大学生として初めて「北山いきものクラブ」に参加しました。他大学からのボランティア学生の参加もあり、生き物や環境に興

味を持つ者同士の交流もでき、非常に楽しく意義深い時間となりました。

さて、北川や北山公園に生息する生き物には、魚類、甲殻類、両生類等色々な種類がありますが、この日捕獲したのは、在来種では、オイカワ、カマツカ、カワムツ、モツゴ、メダカ、アユ、ヌマエビ、トビケラの幼虫、コオニヤンマのヤゴ、トウキョウダルマガエル、外来種ではアメリカザリガニ、ウシガエルなどでした。

久しぶりにこの地の生き物を捕獲して感じたことは、10年程前に比べて、捕獲した生き物の種類が増えているということです。特にカマツカ、カワムツ、アユなどが捕れた事は、自分の記憶にはあまりありませんでした。水質が年々良くなってきていることは、確かだと実感できる出来事でした。地域の人々の意識と行動の賜物だと思いました。

小さいころから、水辺に親しんだ北山公園や北川がこれからもきれいな水質で、在来種の生き物が、元気に生息できるよう地域で継続して見守っていく事が大切だと再認識できました。



追記；同日、トトロのふるさと基金の事務局メンバー他4名が北山公園を訪れ、外来種の網の点検作業や北山いきものクラブの魚とりを体験し、水族館展示などを見学しました。かっぱの会と基金双方の活動状況や課題について情報交換を行うことができ、とても有意義な交流でした。今後も課題解決を目指して連携をしていきたいと思います(清水)。

東村山の方言の中のいきものたち 第三回「じんだんぼ」

今回は私のペンネームにもなっている「じんだんぼ」です。「じんだんぼ」とは「カシの実(ドングリ)」のこと。東村山ではシラカシが多く、神社の鎮守の森や大きなお屋敷の防風林の木としてよく見かけます。



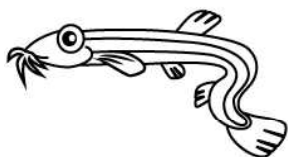
地域によってはドングリ全般を指すこともあるようですが、地元生まれの叔母は「ドングリは丸いやつ(クヌギ)で、じんだんぼは別」と分けて考えていました。逆にクヌギの実のこと指したり、「じんだんぼ」「じーたんぼ」とも言ったりと、書くよりも話し言葉である「方言」というものの曖昧さ=豊かさを感じることができます。

さてこれまで取り上げた「えぼたげえろ(イボガエル=ヒキガエル)」や「おーしんつく(ツクツクボウシ)」は姿形や鳴き声とその由来になっていますが、このじんだんぼの語源はなんでしょうか?正直全くわからないのですが、以下は私の推測ということでお読みください。

「じんだんぼ」という言葉を調べているうちに浮かんだのが、東北の「ずんだ(じんだ)」でした。これはすりつぶした枝豆のことで、その餡でお餅をあえた仙台名物「ずんだ餅」も有名ですね。おそらく「ずん」とは「豆(ず)」が訛ったもので、古来「ずんだ(じんだ)」とは食用の種子全般を表す言葉であり、それが東北では枝豆(ペースト)を表す言葉になり、関東南部ではどんぐりを表す言葉として定着したのではないのでしょうか。実際栃木など関東北部ではそれらが混在している模様で、いつかその分岐点でフィールドワークしてみたいとも思いました。実りの秋のじんだんぼお合い、ぜひ楽しんでください。(じんだんぼ)

自然が大好き 第三回 一田舎少年一

半造川を少し下流へいくと農業高校の田んぼがあり、よく遊びに行っていた。こちらでは、田んぼを見る機会がない。"田無"という地名があるくらいだし…だから、北山公園に田んぼがあったときは、うれしかった。その高校の田んぼでは、レンゲをつんだり、オタマジャクシをつかまえたり、ジャンボタニシの卵をつぶしたりして遊んでいた。でも、ドジョウを見た



のは、北山公園が初めてで、ヌルヌルとした感触に、ピンとしたヒゲに感動した！図鑑の中でしか見たことなかった。

家のなかでは植物、樹木、鳥類、魚類の図鑑ばかり読んでいた。今買おうとすると、結構、値がはるもので、当時の両親に感謝すべきだなと思う。外で見つけた植物、飛んでいる鳥、釣った魚などを調べた。だから、ゲームやマンガにはあまり興味を抱けなかった。今でも、思い出せることばかりで、生き物たちと一緒に成長した幼少期、小学生時代だった。

報告南台・富士見小土曜講座＝自然と遊ぼう「八国山にいこう」

7月13日、南台・富士見小の土曜講座は、八国山で虫捕りを楽しみました。

西武園側の入り口から出発しましたが、ショウリョウバッタの幼虫がたくさんいて、早速みんなは草でバッタ採りに夢中になっていました。

雑木林に入ると、クロヒカゲなどちょっと地味目なジャノメチョウの仲間がよく見られました。林縁環境ではコガネムシなどコウチュウの仲間が見られました。



クロヒカゲ

ほっこり広場まで来て、みんなお待ちかねのお弁当タイムです。食後の休憩は虫捕りや鬼ごっこなど思い思いに楽しんでいました。

雨の日が続いて、この日は実施が危ぶまれましたが、この日は運よく梅雨の中休みで、みんなで楽しく昆虫を観察することができました。ビー永島)

報告 北山小土曜講座

「八国山虫取りハイク」

7月13日、今年も恒例の八国山虫取りハイクを行いました。集合午前5時はお父さんも仕事があっても参加できる時間設定で、今年は参加のお父さんがまずまずでした(8人)。北山小正門前に子供(講座申

し込み児童とその兄弟) 27人、保護者17人、スタッフ5人が集まり、夜が明けたばかりの八国山緑地へ向かう。

入り口で中谷さんの今日の虫取りの掟(オキテ)の説明がある。つまり「カブトやクワガタなどの獲物は第一発見者に権利がある」。そうしないと、体の大きい高学年の子が有利に虫をつかまえてしまうことができるからだ。



梅雨明け前の八国山は、まだセミの鳴き声も無く、虫の活動はいまいちだった。樹液の出ている木はあるのだが、お望みのカブトやクワガタはいない。そう簡単ではないのだ。

途中のほっこり広場でお弁当を広げ、原っぱでバッタを捕って遊ぶ。約2時間のハイクの成果は甲虫ではクワガタは数匹だった。

ただ、早朝の森や草むらで子供も大人も普段体験できない朝の空気や自然の面白さを感じ取ったと思う。さらに夏休みの虫取り発展してくれたらと願った。

(遊星歯車)

報告 北山小土曜講座

北川の魚と生きものを のぞいてみよう



9月7日(土)は晴天で、テントを2つ設置して日差しを避けました。参加者は、児童24人、その兄弟姉妹3人、保護者8人、スタッフ6人の合計41人。今回はタモロコ、ヨシノボリ、オイカワ、カワムツ、スジエビ、ミナミヌマエビ、ドジョウ、カワニナ、タニシ、トウキョウダルマガエル、コオニヤンマのヤゴ、アカネ系のヤゴ、ザリガニなどを捕まえました。

「採れない」と言う子には、一緒に採ってコツを伝えます。網をのぞき込むと、エビがピョン!と跳ねて、だんだん夢中になり、自分で採れるようになっていきます。生き物の名前や特徴も教わりました。「ヨシノボリってどれ? あ、水槽にくっついてる! 面白い…。」水路でも遊び、びしょ濡れで笑っていた北山っ子達でした。(余田)

北川かっぱの会 定例会

11/30(土) 17:00-18:30

サンパルネ3階

来年 3 月頃までの活動予定を中心に検討します。

ご寄付に深謝

北山わんぱく夏まつりの時に多くの方々からカンパを頂戴いたしました。ありがとうございます。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円

新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』

北山公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。

A 2 両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の

生き物観察ガイド』

A 2 両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

NEW! 『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A 2 両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000 円
支援会員：2 年間で 2000 円
学生は 2 年間で 1000 円

「かっぱ通信」年 5 回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 今年夏は夏のスタートが遅かったせいか、暑さが残っている。9月初旬に川に入ったときも暑さひとしお、10月に入っても半袖だ。暑い夏の影響か、大きな台風が来た。北川は大丈夫であったが、兄弟の新河岸川水系の川が各地で暴れていたようだ。被害が心配だ。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会

連絡アドレス

CZT12221@nifty.ne.jp

